

ごあいさつ



風間浦村長
富岡 宏

室町時代から脈々と湧きいづる風間浦村の宝「下風呂温泉」。江戸時代（1656年・明暦2年）には南部藩藩主・南部重信公が下北を訪れた際に入湯すると、藩主も認める名湯となり、以後は南部藩管理のもと湯守がおかれるようになるほど重宝され、今日まで大事に守り継がれてきた大湯と新湯。

長い歴史の中で、幾度か建て替えがなされてきた大湯浴舎・新湯浴舎ですが、いずれも築五十年以上が経過し老朽化が著しかったため、この度、新浴舎「下風呂温泉海峡の湯」として建て替えられ、新たな歴史が始まります。

当浴舎が、地域住民の深いご理解と関係各位のご尽力により開業の運びとなりましたことにより厚く感謝申し上げます。

本施設は、下風呂温泉郷の入り口に位置し、眼下に広がる津軽海峡、遠く北海道の山並みを望みながら入浴が楽しめます。浴槽は大湯と新湯、そして文豪井上靖先生が浸かった、旧長谷旅館の湯が配置され、3つの異なる泉質を楽しめます。

二階には、本村とゆかりのある小説家井上靖先生・水上勉先生と学校法人同志社創始者である新島襄先生の展示コーナーを設置しました。また、井上靖先生が小説「海峡」の執筆のために滞在した旧長谷旅館の参考室を復元しています。

施設内には、休憩スペースや津軽海峡の地魚料理などを提供する「下風呂おんせん食堂」もあり、地域住民が快適な憩いの場として、また、近隣市町村の方々や観光客が保養や余暇利用の場として、湯ったり・湯ったり風間浦村下風呂温泉「海峡の湯」でくつろいでいただければ幸いです。

たくさんのお越しを心よりお待ちしております。

令和2年12月1日



下風呂温泉「海峡の湯」

所在地

T039-4501

青森県下北郡風間浦村大字下風呂字下風呂71-1

交通案内

むつ市
からの場合

- 車で40分
- 下北交通バスターミナルからバスで60分

大間町
からの場合

- 車で30分
- 下北交通バス停
大間フェリーターミナル前からバスで40分

お問合せ

下風呂温泉「海峡の湯」

TEL 0175-33-2116 FAX 0175-33-2117

風間浦村役場

TEL 0175-35-2111 FAX 0175-35-2403



SHIMOFURO ONSEN
KAIKYŌ NO YU

下風呂温泉
海峡の湯



風間浦村